

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 696 号
2019年6月1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

2018年度 アルミニウム 2次合金地金・合金生産 生産・出荷 3年連続で増

一般社団法人日本アルミニウム合金協会はこのほど2018年度(2018年4月～2019年3月)のアルミニウム2次地金と同合金の生産と出荷の実績を発表した。

これによれば、2次合金地金などの生産量と出荷量は、3年連続で前年度よりプラスとなった。

生産量は821,518トンで前年度に比べて2.0%増加し、出荷量は826,264トンで前年度に比べて1.5%増加した。

産業部門別の出荷を見ると、主力のダイカストは前年度比0.1%減、鋳物は3.6%増えた。板は、0.7%増とほぼ横ばい。鉄鋼は、16.6%大幅に増加した。脱酸用アルミ2次合金地金の生産と販売が好調だった。押出は10.7%減にとどまった。

上半期の生産量は前年度比3.9%増の406,501トン、出荷量は、409,315トンと3.6%増加した。

下半期の生産量は2.1%増の415,017トン、出荷量は1.9%増の416,949トンだった。

新型のスポーツ用多目的車(SUV)や軽自動車などの好調を背景に、自動車の国内生産台数が3年連続で増えたことを反映した。

米中の貿易摩擦が激化した場合、IMFはこの度、世界のGDPは短期的に0.3%程度押し下げられるという試算を公表した。IMFはこれまで今年後半に世界経済が回復するという見通しを示していたが、残念ながらこれも危うくなってきた。

アルミ 2次地金・合金の生産と出荷

		2016年度	2017年度	2018年度
総	生産量	792,877 (+2.2)	805,149 (+1.5)	821,518 (+2.0)
総	出荷量	801,428 (+2.0)	814,213 (+1.6)	826,264 (+1.5)
部門別 出荷 量	ダイカスト	456,391 (+3.5)	461,870 (+1.2)	461,486 (-0.1)
	鋳物	196,489 (-0.1)	201,581 (+2.6)	208,866 (+3.6)
	板	53,257 (-6.2)	53,587 (+0.6)	53,965 (+0.7)
	押出	22,744 (+0.4)	24,186 (+6.3)	21,609 (-10.7)
	鉄鋼	42,288 (+5.9)	43,341 (+2.5)	50,549 (+16.6)
	合金メーカー向	28,436 (-0.6)	27,811 (-2.2)	27,524 (+1.0)

(単位：トン、カッコ内は前年比パーセント)

日本アルミニウム合金協会 定 時 総 会 開 催

5 月 1 5 日 ・ 東 京

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は5月15日東京虎ノ門の霞山会館で第45回定時総会を開催した。役員の変更で次の諸氏が新役員に選任された。

会 長 山本隆章氏（大紀アルミ）
副会長 朝来野修一氏（日軽エムシーアルミ）
副会長 北山 悟氏（エスエスアルミ）
副会長 上田雄三氏（福岡アルミ）
専務理事 森本 興氏

総会の席上、平成30年度の決算と令和元年度の予算が承認された。

総会のあと、関係者120人が参加して懇親会が開催され、冒頭で山本会長が次のように挨拶した。

海外では米中貿易摩擦や中国の環境規制が問題視されているが、日本の2次合金に関しては非常に安定して推移している。アルミニウム・スクラップの海外輸出や製品の輸入の問題はあるが、将来的にはどこの国でもリジョナル（地域に根ざす）な地域で完結される業界として潜在的な成長性を考える。

高橋記念賞・3級認定試験

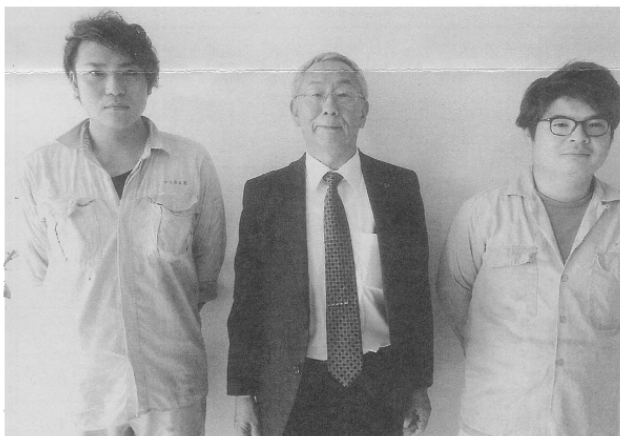
故高橋愛次氏（株式会社アールスティの創業社長）のご遺志によって創立された業界で最も由緒ある賞で昭和54年（1979年）6月第1回が発足した。

アルミニウム合金地金・2次地金製造の技術向上、合理化などに創意工夫を通じて功労のあった現場の技術者に与えられる。

本年度はアスカ工業株式会社から足立哲章君を推薦、目出たく受賞した。足立君は溶解担当として活躍、社員の信頼も厚く今回の受賞が決まった。

3級溶解技能者認定試験は、一般社団法人日本アルミニウム合金協会が技術の進歩に即応できる知識と技能の向上をはかる目的で、3ヶ月の通信教育を受けた者で所定の試験に合格した従業員が認定を受ける。

平成30年度3級溶解技能者の認定試験に、アスカ工業株式会社から八田大典君が挑戦、この度の総会の席上合格証が授与された。



おめでとう

左から

八田大典君
天野 卓社長
足立哲章君



三ヶ根あじさいまつり

三ヶ根スカイラインは西尾市から形原温泉を結ぶ約5 kmの道路で、「あじさいライン」として知られており、6月から7月上旬に約7万本のあじさいが咲く山道を抜けると、眼下に三河湾の大パノラマが広がる。

6月1日（土）から6月30日（日）まで「三ヶ根あじさいまつり」が行われ、あじさいの花と三河湾の眺望が楽しめる。

（写真・あじさいと三河湾）

3月生産

アルミ 鋳物 ダイカスト 生産減少

経済産業省がこのほど発表した3月の生産動態調査によれば、アルミニウム鋳物の生産量は前年同月比で7.1%減少して38,000トン、アルミニウム・ダイカストは4.1%減少して89,486トンであった。

アルミニウム鋳物は2ヶ月連続して、またアルミニウム・ダイカストは3ヶ月ぶりに前年の実績を下回った。自動車、二輪車の生産一服で需要の伸びが止まったものと考えられる。

アルミニウム鋳物は主力の輸送機械（自動車とその他）が6.9%の減少で2ヶ月連続して前年実績を下回った。

一般機械は12.9%のマイナス。公共事業や土木、建築関連などが含まれるその他は、11.6%減と5ヶ月連続のマイナスとなり、4か月連続して大台の1,000トンを割った。

アルミニウム・ダイカストは、主力の自動車が4.1%減少、3ヶ月ぶりのマイナス。

二輪車は6.4%減少で、2ヶ月連続のマイナスとなった。一般機械は7.9%減少で10ヶ月連続のマイナス。好調であった電気機械は一服して10.6%の減少となり、7か月ぶりの減少に転じた。その他は4.1%の増加で3ヶ月連続のプラスの健闘を見せた。

前年同月比は、曜日の関係で稼働日数が前年より1日少ないことから、1日当たりの生産トン数はアルミニウム鋳物、ダイカストともにおおよそ横ばいと考えられる。

3月アルミ鋳物・ダイカスト生産

（単位トン・前年比%）

①アルミ鋳物	38,000	(92.9)
② 一般機械	674	(87.1)
③ 輸送機械	36,446	(93.1)
④ その他	880	(88.4)
⑤アルミ・ダイカスト	89,486	(95.9)
⑥ 一般機械	2,623	(92.1)
⑦ 電気機械	1,466	(89.4)
⑧ 自動車	80,158	(95.9)
⑨ 二輪車	2,039	(93.6)
⑩ その他	3,200	(104.1)



仁吉まつり 6月2日源徳寺

義理と人情の世界に生きた男、吉良の仁吉をしのぶ「仁吉まつり」が6月2日（日曜日）西尾市吉良町上横須賀の源徳寺で催される。吉良音頭の総おどり大会をはじめ地元物産展など多くのイベントが企画されている。

吉良の仁吉は江戸末期、伊勢の荒神山の決闘で穴太徳（あのおとく）と戦い、勝利を収めたものの銃弾を受けて死亡、28才であった。

多勢に無勢の不利の戦いをあえて買って出た背景は、一宿一飯の恩人神戸（かんべ）の長吉への熱い仁侠の心意気と伝えられ、源徳寺の墓は清水の次郎長により建立された。

源徳寺は名鉄西尾線上横須賀（かみよこすか）下車徒歩数分。左の立像は吉良図書館所蔵の吉良の仁吉。

社内情報

- ◎高橋記念賞の足立哲章君、3級溶解技能者認定合格の八田大典君おめでとう。全社員が今後の活躍を大いに期待しています。
- ◎社員の丹精が実って、“アスカ農園”のたまねぎとほうれんそうを収穫しました。両者とも豊作で一同ニコニコ。
- ◎アルミニウム鋳物・ダイカストの生産は高水準が続き、ご同慶の至りです。フル生産で対応しています。

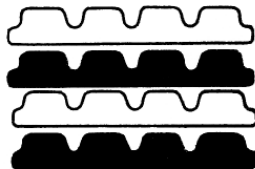
編集後記

- アメリカと中国の関税戦争の“落としどころ”が見えず、一方ではイギリスのEUからの脱退問題が混乱して、両者が世界経済を停滞させて時間が過ぎて行きます。
- 決着するためには多くの困難な問題が横たわっていますが、現状のままというわけにはいきません。人間の“英知”の試されどきと考えます。
- 1日も早い落着を期待しています。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500 代
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>